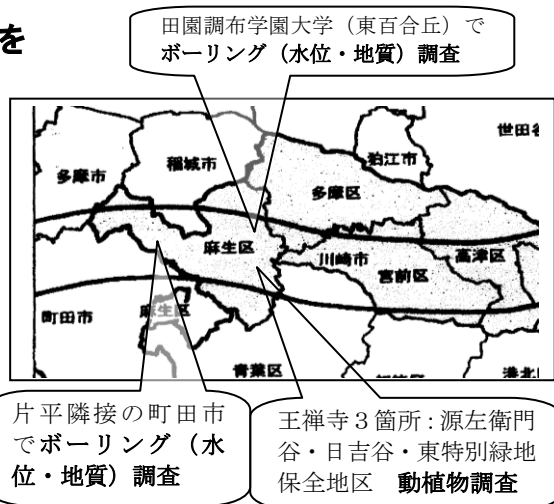


ご存知ですか？麻生区の真下をリニアが通ることを 「JR東海は住民説明会を開け」－川崎市議会へ陳情書提出

住民が知らない間に、麻生区の大深度地下40mにトンネルを掘ってリニア新幹線を通す計画が進んでいます。

JR東海は、品川・名古屋区間286^{km}の建設を2014年度着工に向けて環境影響評価を進めています。川崎市麻生区でも昨年7月から右図にあるようにボーリングによる地質・水質調査などを行いました。他方、沿線住民から「説明会を開いて欲しい」との要請には未だに応じていません。

このため、麻生、宮前、高津中原の住民グループは、3月13日川崎市議会に対して「JR東海が住民に対する説明会開催に応ずるよう川崎市に働きかけること」を陳情しました。陳情書は4月以降審議される予定です。



川崎市議会は市民の代表として、JR東海に対し住民説明会を開催してリニア新幹線計画の詳細を明らかにするよう働きかけてください。

東京新聞 2013年3月14日

市議会に説明会を陳情

市民団体 JR東海の「リニア計画」

市民グループ「リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会」は十三日、リニア中央新幹線の二〇二七年開業を目指しているJR東海に川崎市民に対する説明会を開くよう市に求める陳情を、川崎市議会に出した。

市内でのJR東海の環境影響評価方法書で説明会は、一一年秋にまたがって多い。早期の説明会が必要だと話した。

リニア沿線住民ネットワーク結成集会に 350人参加ー2月10日相模原市橋本

リニア新幹線計画の凍結と再検討を求める全国沿線住民の組織「リニア新幹線沿線住民ネットワーク」の結成集会が2月10日相模原市で開催され、予測を超える350人が参加しました。

集会は、「脱原発社会にリニアは必要か？」と題する広瀬隆さんの講演で始まり、阿部修治さん、橋山禮治郎さんらのパネルディスカッションが続き、参加者からの質疑応答もあり大いに盛り上がりました。また、岐阜、長野、山梨、東京・神奈川の住民グループの紹介と挨拶があり、最後にネットワークの結成宣言を採択しました。



リニア新幹線沿線住民ネットワークの結成集会
相模原市緑区のソレイユがみで

国交省への請願署名を全国で！

リニア沿線住民ネットワークは、JR東海がこの秋に準備書を提出する前に、国交省に対し「住民が納得しないリニア新幹線計画の凍結と再検討を求める」請願署名を全国的に展開しています。

リニア新幹線を考える麻生の会も、駅頭や地域で、あるいは友人・知人に署名を訴え、この無謀な計画はまず凍結し、問題点を再検証するまで工事の着工は行わないことを要求します。

「リニア中央新幹線計画」の凍結を求めます

— 国土交通大臣への請願署名にご協力を！

リニア中央新幹線とは？

リニア新幹線とは超電導磁気浮上方式で走る列車のことで、レールも架線も無く、電磁石の反発力と吸引力で地上10センチに浮上して走行します。運転は変電所からの遠隔操作で行われ、運転手はいない。



〈リニア新幹線計画とは〉

- ◆事業者： JR東海
- ◆計画予定：2014年度 工事計画認可・着工
 - 2027年 東京—名古屋間 (286 km) 開業
 - 2045年 東京—大阪間 (438 km) 開業
- ◆最高設計速度：505 km/時
- ◆総事業費：9兆300億円
- ◆到達時間：東京—名古屋間 40分
 - 東京—大阪間 67分
- ◆停車駅：メイン駅は品川、名古屋、大阪
 - 中間駅は各県1カ所
- ◆全工程の8割がトンネル、都市部は地下40mの大深度トンネル、5~10 km毎に直径3 kmの巨大換気立坑

リニア新幹線は・・・採算とれない、経済効果も無い、駅整備で地元負担

少子高齢化で人口減、新幹線利用客も頭打ち、リニア利用客だけが增える見通しは甘い。建設促進派は中間駅に1時間で5本停まると地元で経済効果大と言うが、停まっても1本。中間駅関連施設、道路など関連整備で地元は巨額の負担を強いられる。

リニア新幹線は・・・電磁波を出す、電気をムダ使い、安全対策も二の次

リニア実験線車内の電磁波レベルは公表されておらず、磁気シールドで車体を覆わなければならないほどの電磁波が発生し、乗客・沿線住民に健康被害の恐れ。新幹線の3~4倍で原発1基分に相当する膨大な電力を消費。「万全の安全対策とる」と説明するが、具体的な事故対策は後回し。

リニア新幹線は・・・南アルプスの自然を破壊、都市でもトンネル工事の影響大

山梨から長野へ南アルプスに大トンネル。日本最大の自然に対する日本最大の破壊行為。悪法「大深度法」で、都市部の住民は、家の真下を通っても権利ゼロ。さらに5~10 kmおきにつくられる巨大な「立坑」工事で大迷惑。全線の8割がトンネルなので膨大な残土が出る。残土の処理はどうかさえ明らかにされていない

リニア新幹線は・・・活断層が動いたらトンネルは大丈夫？

東京・名古屋間の8割がトンネル。その間、多くの活断層が存在。「地下は地震に強い」は神話。揺れには多少強いかも。でも地層がずれる断層地震の経験は未知。危険なリニアをつくるより、東南海地震の被害が心配な東海道新幹線の総点検と大規模改修が先ではないのか。

リニア新幹線を考える麻生の会

私たちは、2011年秋の住民説明会のあと、リニア新幹線の問題点について勉強会を始めた麻生区民の集まりです。JR東海や自治体にリニア新幹線の計画に関する情報公開を要求し、住民が納得するまで建設計画の延期を求めています。誰でも参加できますのでお気軽にご連絡ください。連絡先：[矢沢美也 090-6108-6568](mailto:masao@asao.jp), [門平きょう子 044-988-2282](mailto:masao@asao.jp)

URL <http://web-asao.jp/hp/linear>